

特別顧問	丹羽 晟 (元理事長、日本空港ビルデング顧問) 本保 芳明 (初代観光庁長官) 大島 慎子 (国立大学法人筑波技術大学監事)
理事長	寺前秀一 (人流観光研究所長) 副理事長 岡村 進 (元小田急トラベル社長)
事務局長	杉 行夫 (理事) 事務局次長 堤 るり (理事)
支部長	魚住隆彰 (北陸:元北陸鉄道相談役) 長尾 亜夫 (九州:西日本鉄道相談役)
理事	須田 寛 (東海旅客鉄道相談役) 分家静男 (元射水市長) 阿部和義 (経済ジャーナリスト) 山田早苗 (元近畿日本ツーリスト) 近藤節夫 (日本ペンクラブ前理事) 長尾亜夫 (西日本鉄道相談役) 北村 嵩 (元JTB取締役) 澤田利彦 (松蔭大学 学長補佐) 今井 智康 (ケアアンドロードス(株)代表取締役) 望月義人 (筑波学院大学学長) 大西啓義 (アクティビジネス(株)代表取締役) 高橋俊朗 (元(株)小田急レストランシステム取締役社長) 辛島保馬 (元JTB国会担当、佐藤和弘公認会計事務所相談役) 田阪友隆 (元NHKインターナショナル専務理事) 片山裕司 (花園神社宮司) 杓掛博光 (元旅行読売編集長)

**団体会員** アイエスカンパニー 一般財団法人NHKインターナショナル 株式会社えんれいしゃ 小田急電鉄株式会社  
関西電力株式会社 九州旅客鉄道株式会社 社団法人くらしのリサーチセンター 株式会社グリーンキャブ  
株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド 三普旅行社有限公司 四国旅客鉄道株式会社 新菱冷熱工業株式会社  
住友電設株式会社 セントラルリーシングシステム株式会社 大成建設株式会社 大成設備株式会社  
大成有楽不動産株式会社 株式会社丹青社 第一交通産業株式会社 株式会社ダイエーコンサルタンツ 中国電力株式会社  
一般社団法人中央日本総合観光機構 東海旅客鉄道株式会社 東急建設株式会社 東急電鉄株式会社  
財団法人東京観光財団 西日本鉄道株式会社 西日本旅客鉄道株式会社 公益社団法人日本観光振興協会中部支部  
日本空港ビルデング株式会社 専門学校日本ホテルスクール 羽田旅客サービス株式会社 株式会社バロックジャパンリミテッド  
広島電鉄株式会社 福岡国際空港株式会社 北海道空港株式会社 株式会社ホテル小田急 ホテルメトロポリタン  
マイナミホールディングス株式会社 モバイルクリエイティブ株式会社 株式会社まるまんフィオーレ 三菱電機株式会社

※ 気象と天気の記事は4ページに掲載しています

## 編集後記

12月中旬から全国でコロナ感染者数が爆発的に増加し始めた。年末年始には益々勢いを増し、遂に政府は1月7日東京都と首都圏3県(神奈川・埼玉・千葉)を対象に「緊急事態宣言」を発令した。その後、感染拡大による医療体制の逼迫状況に危機感を持った関西、中部、栃木、福岡など2府4県の知事からの要請を受け、現在では11都府県が「緊急事態宣言」の対象となっている ▼「緊急事態宣言」の期間は3月7日までで、主要な問題点は県境をまたぐ移動の自粛要請と、主たる感染源と考えられている飲食店への時短要請とそれに対する支援策の金額や対象店などである。支援金が少なく経営面を考慮して時短要請を受けない店舗や、支援金が支給されない大手飲食チェーンへの対応など、罰則や店名公表の是非などが盛んに議論されている ▼一方、その陰で、感染を広げる元凶だとバッシングを受けていた観光支援策「GO TOトラベル」の話題は一時期より少なくなっている。同政策は、菅政権が経済活性化政策の目玉として強力に推し進めていたが、この政策が感染拡大させているとの非難を受け、ついに政府は12月14日から1月17日まで、年末年始を挟む「GO TOトラベル」の全国一斉停止を発表した ▼この影響は甚大で、苦境に陥っていた観光・旅行業界にとっては、起死回生を期待していた年末年始の“GO TOトラベル”がほぼキャンセルになった。1月に入ってもコロナ感染の拡大は留まる気配もなく、“GO TOトラベル”の停止は2月末まで延長された。このままの感染状況が続くと、3月以降も停止が続く可能性もあり、持ちこたえられなくなった旅館、ホテル、旅行会社、土産店など観光関連産業が次々と倒産や廃業に追い込まれる恐れがある ▼世界では各地でコロナウイルスの変種も見つかっており、拡大の勢いは収まっていない。1月18日現在で世界の新型コロナ感染者数は9500万人を超え、一日に55万人増加しており、死者数は200万人を上回っている。各国でワクチンの接種が始まっており、早期の感染収束に努力しているが、長引くと今夏のオリンピック・パラリンピックの開催が危ぶまれる。外国からはちらほら五輪開催を懸念するコメントが出始めている ▼旅行・観光業界が広域旅行の活性化やインバウンド復活の起爆剤と期待している夏のオリンピック・パラリンピックがこのまま開催中止になると、観光・旅行業界は壊滅的な打撃を受け、当分立ち直れない可能性がある ▼菅首相は1月18日の施政方針演説で「人類が新型コロナウイルスに打ち勝った証として五輪を開催する」と決意を語った。しかし世界200余りの国と地域からの選手や関係者が集う祭典に対する感染対策は、容易なことではない。2月に開催予定のテニスの全豪オープンでは、選手が使用したチャーター航空機で感染者が発生したため、同乗した選手が全員、ホテルで缶詰となり、2週間練習ができない状況になっているが選手、関係者数は五輪の何十分の一でしかない ▼オリ・パラでは、国内医療体制が逼迫している中、政府、東京都、JOCなど関係個所が本腰を入れて感染対策を講じない限り、世界から安心して日本へ選手や観客を送り出してもらえない。観光、旅行業界が生き残れるかどうかは、菅首相の言葉が空虚な空約束ではなく、日本での感染を収束させること必要である。(北村)

特定非営利活動法人(NPO)  
**JAPAN NOW**  
観光情報協会

東京都港区東麻布 1-27-3  
〒106-0044

電話 03(5989)0902  
FAX 03(5989)0903  
E-mail info@japannow.org  
https://www.japannow.org/

発行人: 寺前 秀一  
編集長: 北村 嵩

主な配布先: 会員、中央官庁、  
地方自治体、民間企業、マスコミなど



- P1 - JN 理事長年頭所感
- P2 - 新しい年のご挨拶
- P3 - 鉄道車両は動く文化財③ / COLUMN
- P4 - 気象と天気 / NEW SPOT④
- P5 - インバウンド再開に備えて
- P6 - アメリカごぼれ話⑦ / 公共放送のレーニン
- P7 - セミナー報告 第166回
- P8 - 編集後記

『冬の五稜郭』北海道屈指の観光プレイス、函館の特別史跡「五稜郭跡(五稜郭公園)」。幕末戊辰戦争の旧幕軍が最後の砦にした城郭の堀を、毎冬約2000個の電球で彩る「五稜星の夢(ほしのゆめ)イルミネーション」が今年も開催されている。2月25日(土)まで★17:30~20:00

冬の五稜郭 © Goryokaku-Tower クリエイティブ・コモンズ・ライセンス (表示 4.0 国際)  
https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/

## 2021年年頭所感 コロナ禍の協会活動

JAPAN NOW 観光情報協会 理事長 寺前 秀一



2021年はジャパンナウ観光情報協会にとって設立20周年にあたります。発足直後の菅内閣は、重要政策としてデジタル化を前面に出しています。メディアもDXの大合唱ですから、デジタル化無くして観光立国も実現できません。字句観光情報は、法律では「観光に関する情報」と表現され、未だ熟語としては使用されていませんが、当協会は先んじて字句「観光情報」を使用していますから、その名に恥じないような取組みが必要と認識しております。

一方、Covid-19感染者数の急増により非常事態宣言が出されるなど、観光を取り巻く環境は極めて厳しい状況です。交通業、旅行業、宿泊業、飲食業等の経営や雇用確保には厳しいものがあります。当協会の収入も、寄付金八十万円の減少等大きな影響を与えており、大幅な経費節減策を考えざるを得ず、現

在の事務所の閉鎖に関して理事会の了解を得ました。この結果二百万円が節減できます。その理事会も緊急事態宣言下リアルではなく、文書や電子メールによる意見交換で行いましたから、まさにコロナ時代のものであります。速やかに総会を開催しご了解をいただいたうえで、住所に関わる定款事項を変更し、東京都港区東麻布1-27-3を暫定的な住所とし、会員には迷惑をおかけしないようにします。

リアルなものだと思われていた観光分野でもオンラインセミナーが大流行です。当協会のセミナーも地方在住の会員等の利便に配慮し、リアルなもの併せて、オンライン化も検討しなければなりません。当協会の抱える現実問題もあります。

機関紙の発行も紙媒体に加えて、HPの拡充等によるデジタル化を進めていかなければなりません。活動の評価がHPへのアクセス数で行われるようになってきています。それには会員のご理解をいただかないと実行できませんので、よろしく願いいたします。



観光界にとっては厳しい年明けとなりました。多くの観光関係者が、生き残りを賭けた、戦いの真っ最中にあります。UNWTOは、2020年の観光サービス輸出の損失額は7,300億ドルに上り、リーマンショック時の8倍になるとの予想を発表しました。正に未曾有の災禍であり、眼前に横たわる苦難を思うと、暗澹とした思いにならざるを得ません。私は、そういう時であるからこそ、目線を上げて、先を見て希望を見出すことが必要ではないかと思っています。タイミングは別として観光の力強い復活を疑う人はいないはず。少し逆説的な言い方になるかも知れませんが、GO TOトラベルで、観光が日本経済社会において大変重要なプレーヤーになっており、大きな政治的期待の的となっていることも証明されました。観光の未来は、明るいのです。

まず、この自明のことに目を向けたいと思います。その上で、より良いコロナ後の観光の姿を考え実現して行くことが重要だと思っています。個人的には、インバウンドの成長低下とその大きさの故にコントロールが難しくなってきた観光パワーというコロナ禍以前から顕在化しつつあった二つの問題に、コロナ禍を踏まえてどう向き合うかが、本質的課題だと思っています。

その答えは、地域と住民に寄り添った経済、社会 / 文化、環境の3つの面でバランスの取れた観光政策、即ち、持続可能な観光の推進にあるのではないかと思います。始めており、このことを追求する一年にする決意を固めております。

この度新しく理事になりました沓掛です。簡単に自己紹介します。元々は月刊誌「旅行読売」の編集部に属し、特集記事などの企画、取材、原稿執筆にたずさわり、編集長、取締役編集部長などを経て退任。その間、TBSラジオの「大沢悠里のゆうゆうワイド」で20年間、旅キャスターを務めたほか、TBSラジオの「コンシェルジュ沓掛博光の旅しま専科」や日本テレビ系列の「2時のワイドショー」、東京FM「ブルーオーシャン」などにも出演し、メディアを通して今求められている旅の情報を発信してまいりました。

かつて旅は公務のためや生活の必要性から居住地を離れ移動することでしたが、時代の変遷と共に楽しみを求めての移動、つまり観光が主体になり今日に受け継がれていると考えられます。とりわけ我が国では1970年の大阪万博を契機に、旅は大きく変わり、リーズナブルで手軽に旅が楽しめるパック旅行が主流となって今日に引き継がれています。その一方で、疲れた自分へのご褒美に他人への気遣い無く旅を堪能する1人旅が女性層を中心に定着。最近では列車旅やクルーズなど移動手段そのものを楽しむ旅あるいは1泊2食型から食と泊を分離し3、4泊する滞在型の旅なども出現。直近では、コロナ禍で現地に行けなから、足腰が弱り海外旅行は無理だからと、リモートによる旅、さらには感染地から離れた旅先で仕事もするワーケーションなど様々なスタイルの旅が登場してきています。旅は時代や世相を映す鏡とも言えるでしょう。コロナ禍、そしてコロナ後、時代を映して旅はどのように変遷していくか。その姿を追っていきたくて考えています。

### 安全な「産業観光」をめざして

新年おめでとうございます。年頭にあたり皆さま方の益々の御健勝御発展を祈願申し上げます。

昨年はコロナに明け暮れる1年でありました。観光関係の会合イベント等も中止が相次ぎました。しかし今年にはコロナ禍のなかにあっても感染対策を施したうえで観光関係に必要な会議、催事等は移動を少なくするよう留意しつつも催行するべく努力したいものと思います。私の担当する「産業観光」では昨年11月桑名で日本観光振興協会がハイブリッド大会と銘打ってコロナ禍のもとでのフォーラムを開催し無事終了しました。会場は座席数をしばらくこみオンライン参加者をバックにそしてこの両者間に対話ができるような準備をしました。

基調講演、パネルディスカッションもオンライン併用で例年のように行なうことができました。「産業観光」では今年1月には堺市で「産業観光」の当面の今ひとつの柱「産業観光まちづくり」を堺市で自治体、経済団体等と共に、丁野朗先生の指導のもとに進めてきましたので、その発表を現地でを行います。

これらの会合は地元の方々を中心にソーシャルディスタンスを充分とる等感染対策に万全を期して開催する予定です。

そして「産業観光」はコロナ禍の元でも安全な観光であることを例証しその歩みを止めることなく進めたいと考えております。今年をコロナ禍にむきあう「産業観光」発展の年ともすべく頑張りますので皆様方のご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

### テーマパークツアー

近年2018年頃から、フランスのルプイアンジュレイのノートルダム寺院から、ヤコブの眠る「聖地」、スペインのサンチャゴ大聖堂まで、1500キロにわたる巡礼の道（世界遺産）を歩く巡礼者が毎年35万人を超えており、これは中世以来のブームだといわれる。

日本では、四国88ヶ所めぐり、1300キロの巡礼の道・「聖地」は有名であるが、2004年に世界文化遺産に登録された日本人の「聖地」・熊野三山は再び巡礼ブームになり、最近を訪れる外国人も多いと聞かれる。また、若者のアニメの世界でも聖地があるという。

一般に、「聖地」とは祈りをささげる信仰の場として理解されてきたが、昨今は、神々しいパワー（神気）を感じる癒しや出会いの居場所・テーマパークと認識している人が多く、世界はテーマパーク化しているという哲学者もいる。根底には、グローバリズム社会、デジタル、AI社会が生み出した不条理、さらには東日本大震災や疫病・コロナの災厄が引き起こしたヒューマニズム（人と人とのつながり）の喪失感があるのだと思われ、また、日本の高齢化社会では、2025年には75歳以上の高齢者が30%を占め、豊かさよりも、わび・さび、幽玄など、枯淡の美を好む、癒しの生活文化を求める人々が増えるといわれる。

今後、観光市場の変化をとらえ、あらたな「聖地」をめぐる、「テーマパークツアー」なる、癒しや出会いなどの心（ハートフルネス）に特化した旅行商品が企画されてもよいと思うのである。

### 「変わりゆく観光と美食の国フランス」

坂井 彰代 (株) オフィス・ギア代表

坂井さんは「地球の歩き方」のフランス編などを執筆され、何度もフランスを訪れているフランス通である。今回の講演では、観光を主産業とする世界の国々に大きな打撃を与えている新型コロナウイルスが、観光と美食の国フランスにどのような影響を与え、コロナ禍での変化と、それにどのように対応したか説明され、アフターコロナに向けて、訪れてみたいフランスの地方の魅力が紹介された。

#### 1) フランスに於ける新型コロナウイルス感染状況

コロナの感染拡大防止のため、3月に最初のロックダウンが実施され、一定の効果があつたが、夏のバカンスが終わり秋になると再び感染が拡大し再度ロックダウンが実施された。最大一日で6万人を超えていた感染者数は1万人程度まで減り、11月末より段階的に解除されているが、クリスマス休暇に向けて12月15日より外出制限解除を目指しているが、感染減が思うように進まず、解除は無理そうである。

#### 2) with コロナで変わってきたレストラン事情

現在、バーやレストランはコロナ禍で、2021年1月20日まで営業を停止しており、クリスマスに向けて、トリュフやキャビアのような高級食材がレストランに卸せなくなり、スーパーで出回っている。外国人富裕層を主な顧客としていた高級レストランでは、テイクアウト、出張シェフ、カジュアル化など対応を迫られており、高級グルメを気楽に味わえる機会が増えている。

#### 3) 変わりゆくパリと市民意識

深刻な大気汚染に悩まされていたパリでは、コロナ禍で交通量が激減した為、空気がきれいになった。自転車レーンも

### GOTO 奢侈禁止令とGOTOキャンペーン

人流観光研究所長 寺前 秀一

個性を重視するはずのものである観光は、本来権力とは無縁であり、権力を前提とする政策と結びついた観光政策は、本質的に内部不協和なものを内包する。

古今東西、贅沢は一種の犯罪であると考えられてきた。儒教では、贅沢は君臣・尊卑の名と分からの逸脱を意味するとされ、社会秩序に対する重大な挑戦と考えられていた。カトリックにおいては、享乐的な生活に対する神の怒りが黒死病などの疫病や戦乱を生み出していると考えられてきた。日本でも、江戸期にたびたび奢侈禁止令が出されたが、遵守されたのは直後のみで時間が経つにつれて違反するものが相次いだ。上の身分の者が下の者に下賜した衣装を実際に着用した場合には、儒教の忠の観念との兼ね合いから黙認せざるを得なかったから、知恵比べであった。贅沢は敵とする戦争時でも、聖地訪問の名のもとに奈良や満州への旅行が行われ、1942年がピークであったから驚きである。

整備され、この機会に自転車通勤に転向する市民が増えているという。ハグする習慣も控えられ、屋外、屋内ともにマスク着用が義務づけられたことから、市民の意識に変化がみられる。

4) フランスでも go to ? 国内旅行で自国の魅力を再発見  
2020年夏、バカンスは国内で過ごすことが奨励され、各観光地はフランス人で賑わった。歴史的価値をもつ小さな村の観光促進のために始まった「フランスの最も美しい村」は①人口は2000人を超えない②最低2つの遺産、遺跡があり保護政策が行われていること③コンミュン議会で同意がえられていること、が条件となっており、地方活性化のための取り組みである。坂井さんはスライドを使い、アルザス、バスク、ブルゴーニュ、ノルマンディー、ブルターニュなどの魅力的な村々を、各地独特の料理、ワインやビール、工芸品や土産物などの説明をしながら紹介してくれた。

講演終了後にはフロアーから活発な質問と感想が交わされた。

### 第167回観光立国セミナー開催のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しておりました観光立国セミナーを開催開始いたします。

**3月16日(火) 12:00より**

海事センタービル 2階会議室にて開催。事前予約。  
講師：椎谷哲夫 氏 元東京新聞編集委員(宮内庁運輸記者クラブ等)  
演題：玉砕の戦地 硫黄島は今―遺骨収集で見たもの  
参加費：会員 / 1,000円 一般 / 2,000円  
※昼食(弁当)付き

戦後復興期、厚生省の施策の元、国民宿舎等公共の宿が整備されたが、ソーシャルツーリズムの名の下に行われた。字句ツーリズムを使用して奢侈のイメージを回避したのは今も同じである。

黒死病の時代と異なり、コロナ期の日本ではGOTOキャンペーンが実施され、財政資金により国民に観光旅行を奨励することとなった。バブル期にも外貨削減策として海外旅行の奨励策(デンミリオン計画)が実施されたが、せいぜい税制上の措置程度であったから、GOTOはさらに一步踏み出したわけである。

このGOTOキャンペーンは、規制がある運賃や宿泊料金の下では、実旅行者への補助金として実施されているが、実質は旅行業や宿泊業の救済策として行われている。制度設計に問題があるのであろう。ネットサイトQuoraに「GOTOを使って遊ぶための旅行はいいのに、大学施設を利用して勉強するための旅行はなぜダメ」との投稿があつたが、そろそろ、観光概念からはなれた人流概念を考える時である。





元 JTB 取締役 北村 嵩



カウアイ島の西に位置するニイハウ島

ハワイは大小 100 以上の島々があるが、通常、8つの島から成るとされている。その内の一つで、カウアイ島の西に位置するニイハウ島は個人所有の島で一般人の出入りは制限されている。

1864 年、ニュージーランド経由でハワイにやってきた、スコットランド出身のエリザベス・シンクレア夫人が、当時の王様カメハメハ四世からピアノ 1 台と 1 万ドルで島を住民付きで買い取った。現在もシンクレア夫人の末裔であるロビンソン一家が所有している。250 名ほどの住民の大半は純粋なハワイ人で今でもハワイ語を使用し、伝統的な生活を送っている。ロビンソン一家は 100 年以上にわたって、一部のカウアイ郡関係者を除いて、いかなる人物の入島も頑なに拒み続けてきた。最近になって島の一部を散策するツアーが誕生したが、現地のハワイ人との接触は今でも禁じられている。

このように閉ざされた島に、半世紀以上前に空から闖入した日本人がいたのである。1941 年 12 月 7 日早朝、真珠湾襲撃の際、日本海軍の空母「飛龍」に所属する今治出身の西開地重治少尉は、第 2 波攻撃に参加した後、被弾してニイハウ島に不時着したのだ。事故を見つけたニイハウの男カレオハノは零戦の機内から銃と書類を押収してしまった。このとき島には電気も電話もなく、真珠湾攻撃のことを知らなかった島民は日本語と片言の英語しか話せない西開地に、当時島に住んでいたシンタニ・イシマツとハラダ・ヨシオという二人の日系人を通訳として紹介した。その時、ロビンソンはカウアイ島に住んでおり、連絡がとれなかった。その間に西開地と、日本人としての意識が強かったハラダが、奪われた戦闘機用の通話暗号表を奪い返すべく、武器を手にしてカレオハノの家に押しかけた。しかし襲撃に失敗した 2 人は、書類を消滅させるべく機体と男の家に火を放った。このことで住民を敵に回してしまった 2 人と住民との戦いは 1 週間も続いた。襲撃を逃れたカレオハノは、一連の出来事をロビンソンに伝えるため、5 人の住民とともに、手漕ぎの救命ボートでカウアイ島に向かった。島に残った住民の一人カナヘレという男が、銃弾で傷つきながら少尉を捕らえ、石壁に叩きつけて殺してしまった。ハラダは逃げ出し、別の場所で自分の腹部を銃で撃って自殺した。カナヘレは後に戦争英雄として称えられた。



焼却後の西開地重治一飛曹搭乗零式艦上戦闘機二一型

この事件がきっかけで、日系人はアメリカ人であるとはいえず信用できないという根強い反日感情を植え付けることとなり、後の「日系人収容所」開設の一因になったといわれる。

## 公共放送のレーニン

小田急電鉄(株)特別社友 利光 國夫

昨今公共放送である NHK の報道姿勢に対する批判が、保守陣営といわれる側から強まっている。特に我が国の歴史問題についての報道姿勢に偏りが多々あるとの批判が強いが、この点に関しては私もほぼ同感である。一例として挙げれば、俗にいう「軍艦島」について、朝鮮人強制労働の有無に関し一方的に韓国側の主張を肯定していると指摘されるが、私の友人に戦前一家そろって「軍艦島」で生活していた人がいる。彼によると島民の生活で日本人と朝鮮人の差別などは殆ど無く、子供同士遊んだり喧嘩をしたりで当時としてのごく普通の生活状況だったという。今彼は産業遺産情報センターでボランティア活動をしており、「軍艦島」を「地獄島」と称して島民を貶める韓国のプロパガンダと闘っている。勿論どちらが歴史の真実かについての論争をするのは自由であるべきだが、いやしくも国民の受信料によってなりたっている公共放送としては両論併記でなければならないだろう。NHK による「軍艦島」のドキュメンタリー番組はこの点においてあきらかに偏向している。

過日その NHK が 20 世紀に大きな影響を与えた人物としてレーニンを紹介する番組を放送した。ドキュメンタリーともバラエティーともいえない内容で、芸能人らしき司会者に加えて芸人、タレント等 3 人コメンテーターによるものだったが、日頃ニュースと天気予報ぐらいしか見ない私もどんな内容か興味を感じてわざわざ録画して視聴してみた。レーニンの生い立ちから職業的革命家としてロシア革命を実行、ソ連邦を成立させた生涯を簡潔に紹介していたが、古いニュース映像を混ぜた内容は私の知見からみても概ね妥当なものだった。だが番組の終わり近く司会者の質問に対してのコメンテーターの一人の発言に私は愕然としたのである。

革命と続く内戦の混乱で起きた大規模な飢餓に際してレーニンは農民から穀物を徴発し、抵抗する農民を容赦なく殺戮した。労働者と農民の解放を目指した革命政権のこの行為をどう思うかという質問に対してコメンテーターは、「大勢の人が飢えてパンが一塊しかないとき全員で分ければ全員が死ぬ、10 人だけで分ければ 10 人は生きられるということでしょう」と答えた。権力者が生きる人を勝手に決めて良い、これこそ古今から全ての圧政者が使ってきた論理である。

「難破船のテーゼ」というものがある。船が難破して救命ボートが下ろされたが、水中に投げ出された人全員が乗る余裕がない。もし全員が乗ったらボートは転覆して全員が死ぬのは確実だが、さてどうすべきか……。この問いに対する答えは無い。もし答える資格があるとすれば、それはボートから自ら水中に身を投げて未だ水中にある人に場所を空ける者にだけであろう。

## 鉄道車両は動く文化財③ 御料車 第一号

JR 東海 相談役 須田 寛



1号機関車150型(関東) 写真提供:交通新聞社

日本の鉄道は 1872 年(明治 5 年)の開業当初はすべてイギリスからの輸入車輛で運行されました。同年の開業式典に臨席された明治天皇が新橋横浜間を初めて鉄道にご乗車になった際も客車は輸入車の上等車(当時は客車の等級が上、中、下の三等級にわかれていました)を新橋工場で改装した車両でした。その後 1876 年(明治 9 年)京都神戸間の鉄道開通式では天皇の行幸に備え神戸工場で英国人ウォルター・スミス監督のもとに特別な客車を新製しこれを「1 号御料車」となりました。いわば(準)国産車といえましょう。

当時は「玉車」と呼んでいたそうです。長さ 7.3 メートル幅 2.1 メートル高さ 2.3 メートルの木造小型四輪客車で当時マッチ箱と称された一般客車と同じ寸法ですが、御料車にふさわしく豪華な内部装飾と中央部の広窓が目をはきまします。この中央広窓はその後の御料車の特色となって引き継がれていきます。



1号御料車 写真:文化遺産オンライン

車体の幕板には唐草模様の彫刻がほどこされています。又車体腰板の菊の御紋章は龍の模様で支え、開き戸には右近の橘、左近の桜にめでたい鳥を配する図柄となっている等御料車にふさわしい優れた芸術作品を取付けました。

## COLUMN 文部省唱歌「われは海の子〜」

周囲を海に囲まれた日本には、明治時代から「海」をテーマにした歌は数え切れないほどある。「海」「浜辺の歌」「椰子の実」「浜千鳥」など小学校唱歌、童謡の抒情的歌詞とメロディーは、日本人の心情に訴え誰でも知っている国民歌謡とも言える愛唱歌であり、心の故里とも言える名曲である。中でも「海」は同じタイトルながら、よく知られた別の歌詞・曲の唱歌が 3 つもあり、いずれも多くの日本人に愛されてきた。

3 つのうちの 2 つの「海」とは、♪海は広いな 大きいな〜♪と、♪松原遠く 消ゆるところ〜♪などの歌い出しで知られている小学校唱歌である。もうひとつ個人的に好きな「海」は、1910 年(明治 43 年)発行の文部省「尋常小学読本唱歌」に掲載され広く歌われた、♪われは海の子 白波の〜♪である。

小学生のころ海の近くに住み、夏休みになると毎日フンドシ姿で 1 日中海に潜っていた「海の子」だったので、妙に気持ちに通じるところがある。荒波と心地よい潮風が旅情を掻き立ててくれるせいか、海近くの鉄道駅などでは列車発着のチャイムとしてもよく耳にする。

この車両は御料車として 1913 年(大正 2 年)まで 26 年間にわたり在籍しました。

廃車後は大切に保存され、1972 年(昭和 47 年)鉄道開通百周年事業のひとつとして旧国鉄大井工場(現 JR 東日本東京総合車両所)で再整備工事を行い、往時の姿に復元しました。美しさを取戻した同車は現在さいたま市の鉄道博物館で展示されています。

因みに現在も御料車は JR 東日本が一括して管理しており、有名な最後の客車編成(一号編成)等も JR 東日本の東京総合車両所で保管されています。

最近御料車は特別な客車を電化、非電化区間どちらでも使用できるよう整備しその都度 JR 東日本の電車、もしくはディーゼル車の編成に取り込んで使用されるようなかたちに変ってきています。

「第一号御料車は、明治時代の鉄道創業期の客車の姿をほぼ完全に残していること、車内装飾の芸術作品としての価値が高く評価されて 2003 年(平成 15 年)に国の重要文化財に指定されました。



1号御料車 窓外からの室内 写真:wikipedia



1号御料車室内 写真:文化遺産オンライン

♪我は海の子白浪の さわぐいそべの松原に 煙たなびくとまよこそ 我がなつかしき 住家なれ♪

この「海」は、現在 3 番までしか歌われていない。しかし、戦前は 7 番まで歌われていた。敗戦直後 7 番の歌詞に国防思想や軍艦が登場するという理由から GHQ の指示により教科書から削除された。1947 年に復活し、今では小学校で 3 番まで教えられるようになった。

その GHQ のお眼鏡に合わなかった 7 番とはこんな歌詞だった。

♪いで大船を乗出して 我は拾はん海の富いで軍艦に 組みて我は護らん海の國♪

と歌われ、まるで、今日国際世論に逆らって南シナ海南沙諸島に海洋進出している中国海軍を彷彿させるような歌詞である。

1 度は歌えなくなった懐かしい小学校唱歌が、3 番までになったとはいえ、幸い復活して再び堂々と歌えるようになっただけでも「海」ファンとしては嬉しいことである。

エッセイスト 近藤 節夫







2021年は丑年ですね。今回は牛にまつわる天気予報の言葉を3つご紹介したいと思います。1つめは「丑の刻」。昔は十二支に時間を割り当て「丑の刻」は午前1時頃から午前3時頃でしたが、天気予報ではこの時間を「未明」と表します。0時から3時間刻みに「未明」「明け方」「朝」「昼前」「昼過ぎ」「夕方」「夜のはじめ頃」「夜遅く」の8つに分類しています。2つめは「牛歩」。歩みが遅いことを表す言葉です。天気図では動きが遅い高気圧や低気圧などの速度を「ゆっくり」と表記します。「ゆっくり」は時速9キロ以下と定義されています。続いて3つめ、牛の鳴き声といえば「モー」ですが、天気の程度を表す言葉に「猛(モー)烈」があります。風や雨が最も強い状態のことを言います。風は平均風速毎秒30メートル以上で樹木や電柱が倒れるほど、雨は1時間に80ミリ以上で恐怖を感じるほどの強さです。2021年は記録的な大雪で幕を開けましたが、この先は穏やかな一年であることを願います。

話は変わりますが、丑にゆかりのある人物といえば、学問の神様として知られる菅原道真が有名です。菅原道真は梅の歌を多く詠み、自身が眠る太宰府天満宮は梅の名所として知られています。梅は、気象庁が季節の進みや気

雨の強さ	一時間降水量(mm/h)	風の強さ	平均風速(m/s)
猛(モー)烈な雨	80以上	猛(モー)烈な風	30以上
非常に激しい雨	50以上80未満	非常に強い風	20以上30未満
激しい雨	30以上50未満	強い風	15以上20未満
強い雨	20以上30未満	やや強い風	10以上15未満
やや強い雨	10以上20未満		

  

1日の時間を表す言葉							
未明「丑の刻」	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜のはじめ頃	夜遅く
0時・3時	6時	9時	12時	15時	18時	21時	24時

<https://tenki.jp/>

候の変化を把握するために行う「生物季節観測」の対象の1つです。この「生物季節観測」は、昨年まで動物23種目、植物34種目について初鳴きや開花等が観測されていました。ところが今年から、動物観測は全て廃止、植物は6種目に減ることになったのです。近年は動物を見つけることや標本木の確保が難しくなったこと等が理由です。6種目は「梅」「桜」「あじさい」「すすき」「いちよう」「かえで」。梅は、季節変化を全国的に把握することに適した、それだけなじみ深い植物として観測種目に残ったのです。



日本気象協会 牧 良幸

**NEW SPOT in Japan 84**

**金沢国立工芸館**

陶芸や漆芸、染織、金工など工芸の歴史と文化が根付く街・金沢に「国立工芸館」が2020年10月オープンした。市民憩いの公園緑地に建つレトロモダンな美術館が人気を集めている。明治末期に建造の旧陸軍施設を2つ並べ移築整備。正面左側は第九師団司令部庁舎で白壁にこげ茶色の窓枠や柱が美しく、右側は緑色の窓枠がアクセントの金沢偕行社で陸軍将校の社交場だった。いずれも国登録有形文化財で、外観は今回の改修で判明した建築当時の色を再現した。日本三名園・兼六園や金沢城公園の南隣にあり、赤レンガ外観の石川県立歴史博物館と北隣の県立美術館に挟まれ、西側は金沢21世紀美術館で賑う。香林坊の繁華街や近江町市場、武家屋敷なども近い、金沢観光の中心地だ。

工芸館は地方創生策のため東京・皇居北の丸公園にあった東京国立近代美術館工芸館の展示部門を移した。金沢が生んだ漆芸の人間国宝・松田権六の作品が目玉。仕事場を復元し蒔絵や製作図案道具など間近で見られる。名誉館長に元サッカー選手で伝統文化の支援や情報発信を続ける中田英寿が就任。開館記念展は第1回「工の芸術—素材・わざ・風土」展。近代化の中で工芸家たちが自



金沢の国立工芸館、左側が旧第九師団司令部庁舎、右側が旧金沢偕行社

然の素材、風土をどう捉えたか、所蔵130点を紹介する。コロナ下の感染予防を徹底し東京時代の旧館の来場者数を上回る。2回目は1~4月「うちにこんなあったら展」。自分の家があったらと豊かな生活を想像する150点だ。

東京の旧工芸館は、やはり旧陸軍の建物で明治末に北の丸公園に建造した近衛師団司令部庁舎を活用し77年に開館、明治以降の工芸品を収蔵展示し親しまれた。このたび所蔵約3900点のうちほぼ半数を金沢に移転し2020年2月閉館した。建物はしばらくそのままに、東京の組織を近代美術館の分室として移転業務とともに残りの工業デザインやグラフィックデザインなどの作品群を管理運営する。 文・写真 林 莊祐

**コロナ後を見据えて四国に インバウンド旅行会社を立ち上げ!!**

四国ツアーズ株式会社 取締役会長  
BSオフィスなかの 代表  
JN協会会員 中野 隆

コロナの嵐が吹き荒れる中、昨年7月に、英国人の友人ロッドとインバウンド専門旅行会社「四国ツアーズ株式会社」を立ち上げました。「コロナ禍のなかで大丈夫か？」と心配いただきますが、海外での調査では、コロナ後に訪れたい国の一番に多くの国で「日本」が選ばれるなど、インバウンドは必ず復活すると確信しています。中でも過密を避けて、自然あふれる地方を訪れたいというニーズは確実に増加すると考えており、我々四国の観光事業者にとって大きなビジネスチャンスだと認識しています。

と言っても実需がすぐに戻るわけではないので、今は、再起動したときに出遅れないように、四国各地の観光事業者さんと連携して商品開発を進めています。最初に目を付けたのが、「アドベンチャートラベル」(AT)と呼ばれる体験型観光です。ATは「自然」・「文化歴史」・「アクティビティ」の要素を含む旅行と定義され欧米豪では知識層を中心に需要が旺盛で、コロナ流行前の世界市場規模は70兆円ともいわれています。今年9月にはATの国際組織「アドベンチャートラベルトレード協会」(ATTA)が、国際商談会「アドベンチャートラベルワールドサミット」(ATWS)を北海道で開催します。

幸いにも四国では、弊社がATWS事務局から指名を受け、四国のAT商品をATWS関連商談会などでATTA加盟の海外旅行会社へプロモーションするチャンスがいただきました。また、今年9月に北海道を訪れるATTAメンバーのためにプリサミットツアーとして「訪れるべき四国を代表する海と山と川をEバイクで巡る旅5泊6日」を提案しており、採択されれば、四国で初めてATTAが認定するツアーが催行されることになります。

日本のAT市場は北海道が先行していますが、四国には北海道とは違う自然や文化歴史があり、穏やかな気候風土、豊富な食などAT市場にとっての魅力に溢れていますので、インバウンド再開の暁にはATで日本に行くなら「四国」は外せないと言われるのが楽しみです。(弊社Webサイト: shikokutours.com)

(参考): プリサミット四国コースの旅

1日目: 夕刻道後温泉集合 2日目: しまなみ海道サイクリングと潮流体験 3日目: 石鎚山ヒルクライムとUFOライン縦走サイクリング 4日目: 仁淀川サイクリングとSUP川下り 5日目: いの町探索と和紙体験、酒蔵見学 6日目: 高知から札幌へ



しまなみ海道サイクリング

弊社社長 ロッド



仁淀川 SUP



仁淀川 SUP 川下り



和紙の紙漉き体験